



臼井 博教授近影



大瀬 隆教授近影

## 臼井 博教授略歴・主要業績目録

### ■履 歴

- 1948年 4月 14日生  
1971年 3月 北海道教育大学札幌分校小学校教員養成課程卒業  
1973年 3月 北海道大学大学院教育学研究科修士課程修了（教育学修士）  
1976年 3月 北海道大学大学院教育学研究科博士課程中途退学  
1973年 11月 札幌大谷短期大学助手  
1976年 4月 北海道教育大学教育学部札幌分校助手  
1977年 10月 北海道教育大学教育学部札幌分校講師  
1981年 4月 北海道教育大学教育学部札幌分校助教授  
1994年 4月 北海道教育大学教育学部札幌分校教授  
2006年 4月 北海道教育大学教育実践総合センター長（2008年3月まで）  
2010年 4月 札幌学院大学人文学部人間科学科教授  
2013年 4月 札幌学院大学教職課程委員長（2015年3月まで）

### ■業 績

#### <研究テーマとその特色>

【テーマ 学校間移行，学習動機，学校適応】

小学校から中学校への学校間移行に焦点を当てて，その間に子どもの学習動機（熟達目標志向性や自律的学習動機）と学校適応がどのように変化するか，またこの移行期の円滑な学校適応に対する影響要因としてどのようなことが重要なのかについて研究している。研究のデザインとしては，小学校3年生から中学校3年生までの広い年齢範囲の子どもたちを対象にして2～4年間の縦断的なデータの収集を行い，データの分析をしている。これにより「中1ギャップ」現象が確証できるかどうかに対して新たな視点からの解明が可能であると考ええる。

#### <研究課題のキーワード>

パーソナリティ発達，学校間移行，学習動機，非認知的要因，学校文化

#### <研究業績>

##### （1）著書

- 2017年 3月 『心理学概論』（共著）おうふう，pp.75-91  
2013年 3月 『パーソナリティ心理学ハンドブック』（共著）福村出版，pp.253-266  
2013年 3月 『発達心理学と隣接領域の理論・方法論』（発達科学ハンドブック1）（共著）新曜社，pp.147-163  
2012年 3月 『熟慮性の発達—そのメカニズムと学校文化の影響—』（単著）北海道大学出版会  
2009年 2月 『教師という仕事』（リーディングス 日本の教育と社会15）（共著）日本図書センター，pp.51-70  
2009年 2月 『小学校の中学年から中学校1年にかけての学習動機の発達的变化に関する縦断的研究』（単著）平成17年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究成果報告書  
2009年 2月 『縦断研究の挑戦—発達を理解するために—』（共著）金子書房，pp.23-52  
2008年 10月 『生涯発達心理学へのアプローチ（自己心理学2）』（共著）金子書房，pp.27-41  
2007年 3月 『学びつづける心—小学校6年間の発達—』（放送大学大学院『発達心理学特論』）

- の放送教材ビデオ) (単著) 放送大学学園
- 2007年 3月 『三つ子のたましい—幼児教育実践の特徴—』(放送大学大学院『発達心理学特論』の放送教材ビデオ) (単著) 放送大学学園
- 2007年 3月 『発達心理学特論』(共著) 放送大学教育振興会, pp.139-152, pp.181-194
- 2006年 6月 『教育評価事典』(共著) 図書文化, pp.139-140
- 2001年 6月 『アメリカの学校文化 日本の学校文化』(単著) 金子書房

## (2) 論文・その他

- 2017年 10月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機に対する影響(8)—基本的生活習慣と中学校での生活の変化の学校適応と学習動機に対する影響」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 第102号』pp.91-109
- 2017年 3月 「大学の試験成績に対する非認知的要因の影響—授業に対する積極的関与(エンゲージメント)と着席行動の影響—」(単著)『札幌学院大学総合研究所紀要 第4巻』pp.61-71
- 2017年 2月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機に対する影響(7)—「中1ギャップ」現象は、確認できるのか? :縦断的な研究」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 第101号』pp.75-93
- 2016年 12月 「小学生の読書動機と半年後の読書行動の関連性に関する縦断的研究—自律的読書動機、読書の粘り強さ、読書の相互作用の重要性—」(単著)『生涯発達心理学研究 白百合女子大学生涯発達研究教育センター 第8号』pp.49-58
- 2016年 10月 「小学校児童の読書関連動機の読書行動・国語学習スキルに対する影響—性差の分析を中心に—」(単著)  
『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 第100号』pp.113-129
- 2016年 3月 「教育心理学(半期)の授業効果:授業開始時と終了時の重要概念に関する知識の変化」(単著)『札幌学院大学総合研究所紀要 第3巻』pp.33-43
- 2016年 2月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機に対する影響(6):小中学校の学級の目標構造の安定性と翌年の学業動機や学校適応感に対する影響」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 99号』pp.61-76
- 2015年 10月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機に対する影響(5)—小学校3年時の学習動機、親子の活動共有、学校適応感から6年時の学業やレジリエンスの予測:縦断的研究—」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 第98号』pp.63-81
- 2015年 5月 「子どもが伸びるとき—動機づけの心理学から—」(単著)『北海道高等学校長協会会誌 北海道高等学校長協会 第52号』pp.76-97
- 2015年 3月 「最近の子どもの読書傾向—小中学生の読書調査から—」(単著)『SGU教師教育研究 札幌学院大学教職課程委員会 第29号』pp.1-1
- 2014年 3月 「『教育心理学年報』が新たな一歩を踏み出します」(巻頭言)(単著)『教育心理学年報第53集』日本教育心理学会, pp. I - I
- 2014年 3月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機の影響(4)—学習方略・学習観・友人観に対する予測要因の縦断的研究—」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 95号』pp.69-82
- 2013年 11月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機に対する影響(3)—小学校6年生から中学校1年生にかけての学習動機の影響についての因果的分

- 析一」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 第94号』pp.29-43
- 2013年 3月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機に対する影響(2)―第1波調査の結果:小学校3年生から中学校3年生までの横断的分析―」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 第93号』pp.17-36
- 2013年 3月 「子どもの変化についての理解―「子どもが変わった」言説を問い直す―」(単著)『酪農学園大学教職課程研究第10号』pp.39-47
- 2012年 10月 「小学校から中学校への学校間移行の学校適応と学習動機に対する影響(1)―研究の目的と全体計画―」(単著)『札幌学院大学人文学会紀要 札幌学院大学総合研究所 第92号』pp.25-39
- 2012年 3月 第9回(2010年度)優秀論文賞選考経過および論評(共著)『教育心理学年報 日本教育心理学会 51集』pp.252-258
- 2010年 2月 「学力のローカルモデルを目指して」(単著)『小学校時報第702号』(全国連合小学校長会・機関誌)pp.4-8
- 2008年 3月 「平成19年度学校経営プロジェクト報告書」(共著)北海道教育大学 教育実践総合センター
- 2008年 2月 「子どもの居場所形成を促す授業づくりの取り組み」(共著)『北海道教育大学 教育実践総合センター 紀要 第9号』pp.75-90
- 2008年 2月 「子どもたちの危険回避能力を高める安全教育と保護者・地域連携システム」(共著)『北海道教育大学 教育実践総合センター 紀要 第9号』pp.49-54
- 2008年 2月 「小学生の理科に関する素朴概念の修正が学習意欲に及ぼす影響」(共著)『北海道教育大学紀要(教育科学編)第58巻 第2号』pp.159-173
- 2008年 2月 「プロジェクト方式を導入したチームマネジメントで行う学校改善」(共著)『北海道教育大学 教育実践総合センター 紀要 第9号』pp.95-102
- 2008年 2月 「授業における地上デジタル方式番組やインターネット環境の有効利用に関する実践研究」(共著)『北海道教育大学 教育実践総合センター 紀要 第9号』pp.33-40
- 2007年 3月 「平成18年度学校経営プロジェクト報告書」(共著)北海道教育大学 教育実践総合センター
- 2007年 3月 「教員10年経験者研修の評価研究(第3報)―札幌市の平成15・16年度の参加者のデータ分析―」(単著)『北海道教育大学 教育実践総合センター 紀要 第8号』pp.47-54
- 2007年 3月 「パートナーシップによる臨床的実践力の育成」(共著)『文部科学省平成18年度「大学教育の国際化推進プログラム」成果報告書』北海道教育大学, pp.77-79
- 2006年 3月 「学校における発達支援のあり方」(共著)『教育心理学年報 第45集』pp.14-15
- 2006年 3月 「教員10年経験者研修の評価研究:参加者の視点から」(単著)『北海道教育大学 教育実践総合センター 紀要 第7号』pp.79-84

#### <学会発表>

- 2016年 10月 「小学校高学年児童の読書動機の半年後の読書活動への影響―性差の分析を中心に―」日本教育心理学会
- 2015年 8月 「小学生の読書動機と読書行動との関連性」日本パーソナリティ心理学会第24回大会
- 2015年 5月 「Development of reading motivation measures for Japanese students.」



- Middle West Educational Research Association annual conference U.S.A, Illinois: Evanston
- 2013年 8月 「Predicting adolescent reading achievement from self-efficacy, autonomy, and grit.」 日本教育心理学会第55回総会
- 2013年 8月 「小学校から中学校への学校間移行と学習動機の発達（7）—学習方略・学習観・友人観を予測する要因は何か？—」 日本教育心理学会第55回総会
- 2012年 11月 「小学校から中学校への学校間移行と学習動機の発達（6）—小学校の学級の目標構造（熟達目標）の高低による比較—」 日本教育心理学会第54回総会
- 2011年 7月 「小学校から中学校の学校間移行と学習動機の発達（5）—小学校中学年の親子交流行動から卒業時の学校適応の予測—」 日本教育心理学会第53回総会
- 2011年 1月 「2つの学校文化の移行としての発達—熟慮性の認知スタイルを通して—」 札幌学院大学人文研究部会研究会
- 2009年 9月 「小学校から中学校への学校間移行と学習動機の発達（4）—学習動機の横断データと縦断データの比較—」 日本教育心理学会第51回大会
- 2009年 3月 「子どもをとりまく環境はこれでいいのか—発達と教育の視点から—」 日本発達心理学会第20回大会
- 2008年 10月 「小学校から中学校の学校間移行と学習動機の発達（3）—学校適応の小6から中1への変化：2つのコホートによる分析—」 日本教育心理学会第50回総会
- 2008年 10月 「理科の授業における素朴概念修正過程での発話の質的变化」 日本教育心理学会第50回総会
- 2008年 3月 「学校種という下位文化と学校間移行」 日本発達心理学会第19回大会
- 2008年 3月 「発達の文化性と生物性（3）—言語発達における文化的要因と生物学的要因の関係を考える—」 日本発達心理学会第19回大会
- 2008年 3月 「Discovering academic autonomy in Japanese students.」 American Educational Research Association
- 2007年 9月 「小学校から中学校の学校間移行と学習動機の発達（2）」 日本教育心理学会第49回総会
- 2007年 9月 「素朴概念の自律的修正が与える学習への影響」 日本教育心理学会第49回総会
- 2006年 10月 「小学校から中学校への学校間移行と学習動機の発達」 日本教育心理学会第48回総会
- 2006年 3月 「文化比較の展開—文化内変動の重要性—」 日本発達心理学会第17回大会

## 大瀬 隆教授略歴・主要業績目録

### ■履 歴

- 1949年 2月 9日生  
1971年 3月 北海道教育大学札幌分校中学校課程体育専攻卒業（教育学士）  
1971年 4月 北海学園札幌商業高校（1979年3月まで）  
1979年 4月 札幌商科大学人文学部助教授  
1981年 4月 札幌商科大学商学部助教授  
1984年 4月 札幌学院大学商学部助教授  
1986年 4月 札幌学院大学助教授  
1996年 10月 札幌学院大学教授  
2008年 4月 札幌学院大学人文学部こども発達学科教授

### ■業 績

#### <研究テーマとその特色>

##### 【テーマ スキーの技術指導法】

スキー技術の指導系統の構築では、コース状況への適応を主眼としており、「バランスの保持」を根拠とした解説DVDを対応させている。又同様の捉え方で、小学校学習指導要領を分析し、「転移させる技術単位は何か」を追及した現場教員との共同研究を行った。

#### <研究課題のキーワード>

体育方法

#### <研究業績>

##### (1) 著書

- 1991年 3月 『新大学体育』（共著）学術図書出版社、「理論編＜体育理論Ⅱ＞」pp.48-64,「実技編」バスケットボール pp.135-146, バレーボール pp.147-158, 水泳 pp.207-220, スキー pp.221-238  
1984年 4月 『大学体育』（共著）学術図書出版社, 第1章「大学体育の概説」pp.1-7, 第2章「札幌学院大学正課体育の学習指導」＜実技の解説＞バスケットボール pp.74-86, バレーボール pp.87-99, 水泳 pp.141-155, スキー pp.156-175

##### (2) 論文・その他

#### <論文>

- 2014年 10月 「転移と指導プログラム—小学校体育科運動領域の順列化（その2）—」（共著）札幌学院大学人文学会紀要第96号 pp.101-113  
2013年 11月 「転移と指導プログラム—小学校体育科運動領域の順列化（その1）—」（共著）札幌学院大学人文学会紀要第94号 pp.117-153  
2007年 10月 研究資料「全日本スキー連盟教育本部オフィシャルブックの分析」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要』札幌学院大学人文学会 pp.177-188  
2002年 12月 「カービング技術の指導系統」（単著）『札幌学院大学人文学会紀要』第72号, pp.1-16  
2009年 7月 「保健体育教育分科会」（共著）『2009北海道の教育』（合同教育研究全道集会実行委員会） pp.171-183

- 2008年 11月 「保健体育教育分科会」(共著)『2008北海道の教育』(合同教育研究全道集会実行委員会) pp.163-172
- 2007年 2月 「保健体育教育分科会」(共著)『2007北海道の教育』(合同教育研究全道集会実行委員会) pp.174-180
- 2006年 11月 「保健体育教育分科会」(共著)『2006北海道の教育』(合同教育研究全道集会実行委員会) pp.181-184
- 2005年 9月 「保健体育教育分科会」(共著)『2005北海道の教育』(合同教育研究全道集会実行委員会) pp.171-176

#### <技術解説DVD>

- ・ vol.1 スtockワークの内在化(ニセコ 2008.4.8)  
stockワークの二形態(ニセコ 2008.3.30)
- ・ vol.2 ウィンドクラストのコントロール(ニセコ 2008.3.29)  
深い湿雪のコントロール(中山峠 2009.4.20)
- ・ vol.3 オフピステⅠ:圧雪とウィンドクラスト(旭岳 2010.4.2)  
オフピステⅡ:圧雪と新雪(黒岳 2010.4.3)
- ・ vol.4 オフピステⅢ:旭岳5合目噴気孔エリア タヒチアンテクニック(2010～2011シーズン)
- ・ vol.5 オフピステⅣ:黒岳5合目林間エリア タヒチアンテクニック(2011～13シーズン)

#### <学会発表>

- ・ 「レクリエーション・スキーにおける用具適正について―技術向上とスキー板・ブーツの関連性―」日本体育学会第38回大会 1987年